

みなぎる



2014年12月11日

第6号

発行責任者: 高橋とおる

おおさか誠二選挙事務所

〒040-0001 函館市五稜郭町4-16

TEL: 0138(31)1151 / FAX: 0138(31)1161

個人演説会、これまでに1600名がおおさか候補の政策に深い共感!

おおさか誠二 最終日まで駆け抜けます!

大間を止める一票を!

○おおさか候補に「様々な約束をする候補者は多いが、今回は口先だけではなく、実行できる人は誰かをキチンと見極めて投票する」とお話しされた方がいたそうです。

○与党候補の選挙公報、法定チラシには「大間」の二文字がありません。書き忘れたわけではないでしょう。「大間」の二文字を書けない理由があるのでしょうか。



○おおさか候補は2年間、大間原発建設凍結と脱原子力社会を実現するため、陰ひなたなく一步一步、着実に活動を継続してきました。

○「今度こそ、やはりおおさかさんに」の声が広がっています。それは「大間にNOを!」の道南の強い思いです。

○大人には、思いっ切り泳げる青い海と、胸いっぱいにおいしい空気を吸い込めるきれいな空を、子どもたちに受け継いでいく、重く尊い責任があります。

安倍政権の暴走を止めるのは、わたしたちの代表者・おおさか候補です
○昨日三箇所ですべて個人演説会を行い、これまでの参加者は1,600人を超えました!

○地域に根差した地道な活動に、共感の広がりを感じる一方、「報道」は大丈夫だろうかとの不安を感じます。衆院選を取り上げるテレビ番組が激減し、選挙報道は2012年の約3分の1となっています。

○自民党がテレビ各局に文書で「公平」な報道を求めたことで、慎重になっている面もあるのでしょうか。

○マスコミが圧力をかけられ伝えるべきことを報道せず、国民は特定秘密保護法で萎縮させられる社会では、国民の目が政治から遠ざけられ、「何も見るな、聞くな、考えるな、そして話すな。ただ、従え」という独裁的な雰囲気蔓延し、集団的自衛権や特定秘密保護法を十分な議論を尽くさずに強行決定した安倍内閣の姿勢とあいまって、民主主義が危機に陥ってしまいます。

○これをストップするのは、公文書や情報公開の大切さを説き、しっかりとした議論を土台とする民主主義に軸足を置く「おおさか候補」を私たちの代表者として国政へ返り咲かせる、一人ひとりの一票です。

最後までその輪を広げるべく、全力で取り組んでいきましょう!

ラストスパート!!



○公示日から続いている、早朝から夜遅くまでフル回転のおおさか候補の日々。

○今日も遊説隊の皆さんと一緒に食事のひとときが、つかの間の休息です。

○いよいよ、今日を含めてあと3日。最後まで訴え抜いてラストスパート。ホップ・ステップ・ジャンプの飛躍を目指して、元気に活動を続けます!

○おおさか候補を先頭に、わたしたちもしっかりと前進していきましょう!

○その道は故郷・道南を守る道であり、平和な社会を、日本の民主主義を守る道です。



いざ決戦!!

おおさか誠二 街頭大演説会会 12/12

(金) 18時30分~

応援弁士

徳永エリ

参議院議員